

I. 乳児健診におけるアンケートから—体重と親子関係

黒川 徹 (九州大学医学部小児科)
佐伯 昭代 (母子衛生研究所福岡支所)
小島 誠子 (")

はじめに

肥満度が社会的経済的家庭的環境によって左右されることはよく知られている。われわれは前回幼児において一家族当り人数が少いもの、祖父母が同居せず昼間の世話役が母親であるものは肥満の傾向があることを報告した。今回は乳児の育児に関して母子関係の現状を調査し、とくに体重との関係について検討した。

対象と方法

母子研の4カ月および1才半健診に来た200名であり、各々の母親に対しアンケート(表1)による調査を行なった。この年齢の標準偏差値は約800~1,200gであり、標準平均値からの偏位によってつぎの3群に分類した。I群:昭和55年厚生省国民標準体重より1,001g以上大きいもの25人(男8人,女17人),II群:標準体重との差が±1,000g以内のもの158人(男77人,女81人),III群:1,001g以上小さいもの17人(男8人,女9人)。

結 果

①分娩順位:第1子94人(47.0%),第2子81人(40.5%),第3子以下25人(12.5%)であった。I群は第1子が72%を占め、III群(41%)に比し多かった($p < 0.05$)。またIII群はI群より第3子以下が多い傾向がみられた。

②分娩場所:病院80人(40.0%),医院110人(55.0%),助産所9人(4.5%),他1人(0.5%)であった。医院出生はI群の68%,II群の54%,III群の47%でI群に多い傾向がみられた。

③出生体重:2,500g以下は8人(4.0%)であった。3,001g以上はI群の96%,II群の62%,III群の41%で。I群とII群の間に有意差があった($p < 0.001$)が、II,III群間には差が

なかった。

④生後1週間以内には169人(84.5%)に異常なく、かつ各群間に差はなかった。

⑤赤ちゃんが欲しいと思ってどのくらいして生まれたかについては表2の如くであり、「なかなか生れて来なかった。やっと生まれてきた」はI群がIII群に比し有意に多かった。

⑥うぶ声をきいたとき、「感動した」67人(33.5%),「元氣そうだと思った」59人(29.5%),「男(女)でよかった」28人(14.0%),「その他」46人(23.0%)であった。「感動した」ものはI群52%,II群32%,III群23%であったが各群間に有意差はなかった。

⑦赤ちゃんと初めて対面したとき「嬉しい・良かった」と思ったものは108人(54.0%)で、I・II群はIII群に比し多かった。一方、「実感がない」「また男(女)か」はI・II群に比しIII群に多かった($p < 0.05$) (表3)。

⑧授乳中どんなにしているかについては「こどもの眼をみている」は154人(77.0%),「他のことを考えている」は34人(17.0%),「テレビをみたりしている」は7人(3.5%),「その他」5人(2.5%)であった。「こどもの眼…」はI群76%,III群65%,「他のことを…」はI群16%,III群29%であったか有意差はなかった。

⑨育児をどう思うかについては「希望に溢れている」103人(51.5%),「疲れるが仕方がない」31人(15.5%),「自分の向上がない」6人(3.0%),「その他」60人(30.0%)であった。

⑩主人の育児に対する態度は「母親以上に熱心」55人(27.5%),「少しかまってくれる」115人(57.5%),「まったく無関心」6人(3.0%)「その他」24人(12.0%)であった。

⑪買物などに外出するとき「必ず連れて出る」は102人(51.0%)、「預けて出る」は68人(34.0%)、「寝せたまま」30人(15.0%)であった。連れて出る場合は「おんぶ・抱っこ」43人、「車・ベビーカー」59人であった。預ける相手は祖父母がもっとも多く68人中54人(86%)であった。

⑫赤ちゃんの発育について「順調でたいへん嬉しい」145人(72.5%)、「少し心配がある」55人(27.5%)であった(表4)。「順調で…」はI群80%、II群75%、III群41%で、I・II群とIII群の間には差があった($p < 0.01$)。心配の内容はIII群では発育不良であり、I・II群では下痢・便秘などであった。

⑬赤ちゃんはお乳をよく飲むかについては「ハイ」181人(90.5%)で、I群96%、II群91.8%、III群71%で、I・II群とIII群間に差があった($p < 0.05$)。

⑭離乳開始までの栄養法は「ずっと母乳のみ」67人(33.5%)、「母乳でスタートし、途中で人工または混合栄養に変更した」83人(41.5%)「はじめから人工または混合」50人(25.0%)であった。「ずっと母乳のみ」はIII群>II群>I群の順に多かったが有意差はなかった。

考 按

母親の養育態度と乳児の体重は相互に影響し合うことが考えられる。竹内は低出生体重児の母親の情緒的安定は成熟児の母親より遅く得られると

述べている。Klaus は未熟児の母親は未熟児を生んだことに対し罪悪感を有しているが一方、ソ連では養子に出される率が未熟児は成熟児の2倍で、乳幼児施設に入れられる率も8~10倍であることを述べている。本研究においては本邦においても発育不良のものは発育良好のものに比し、出生前から親の期待が少く、また育児の積極性に関しても問題のあるものが多い傾向があることを明らかにした。

ま と め

乳児健診で体重の大きい群は第1子で切望された後やっと生まれ、出生体重が大きく、分娩後対面したとき嬉しいと思ったものが多かった。また乳をよくのみ、発育が順調で親が嬉しく思うものが多かった。一方、体重の少い群は第2、3子で欲しいと思われないうちに生まれ、出生体重が小さく、対面したとき実感なく「また男(女)か」といった感情が多かった。発育について心配しているものが多く、乳量が少なかった。

文 献

- 1) 竹内徹, 藤村正哲: 昭和55年度厚生省心身障害研究「母子相互作用の臨床的・心理・行動科学的ならびに社会小児科学的意義」に関する研究, 研究報告書 p.189.
- 2) Klaus, M.H., Kennel, J.H.: 母と子のきずな。竹内, 柏木訳, 東京・医学書院, 1980. p.133-221.

表 1. ア ン ケ ー ト

調査年月日 _____
 対象児名 _____
 生年月日 _____
 現日数 _____
 第何子 _____
 住 所 _____

- ① 妊娠中の異常 なし あり ()
 ② 分娩の状態 異常なし あり ()
 ③ 分娩場所 病院・医院・助産所・その他
 ④ 出生時体重 g
 ⑤ 現在体重 g
 ⑥ 分娩予定日より早かったか遅かったか
 イ 予定日より () 日早かった
 ロ 予定日より () 日おそかった
 ハ 予定日
 ⑦ 出生後1週間以内に赤ちゃんの状態に何か変わったことがありましたか。
 イ 異常なし
 ロ 出生後しばらく、うぶ声を上げなかった (仮死) 保育器 () 日
 ハ 黄だんが強かった
 ニ その他
 ⑧ 赤ちゃんが欲しいと思って、どれ位して生まれましたか。
 イ 予期しないうちに
 ロ 予定よりもやゝ早く
 ハ 予定どおり
 ニ 欲しいと思ってもなかなか生れなかった
 ⑨ うぶ声を聞いた時、どう思いましたか。
 イ 感動した
 ロ 元気そうだと思った
 ハ 男でよかった (女でもがまんする)
 ニ 女でよかった (男でもがまんする)
 ニ その他
 ⑩ 初めて赤ちゃんに対面したのはいつですか。
 イ 分娩直後 (うぶ湯の前)
 ロ うぶ湯の後
 ハ 分娩当日
 ニ 生後1日目 (分娩の翌日)
 ホ 生後 () 日目
 ⑪ 赤ちゃんと初めて対面してどう思いましたか。
 ()
 ⑫ 赤ちゃんを初めて抱いたのはいつですか。
 イ 分娩直後 (うぶ湯の前)
 ロ うぶ湯の後
 ハ 分娩当日
 ニ 生後1日目 (分娩の翌日)
 ホ 生後 () 日目
 ⑬ 初乳を与えましたか。
 ハ イ イイエ
 ⑭ 授乳中は、いつもどんなにしていますか。
 イ こどもの眼をみながら、こどものことを考えている
 ロ こどもの様子を見ているが、他のことを考えていることが多い
 ハ テレビを見たり、本をよんだりしている
 ニ その他
 ⑮ 1日のうち、テレビやラジオがついている時間
 イ テレ ビ () 時間
 ロ ラ ジ オ () 時間
 ハ カセ ッ ト () 時間
 ⑯ 赤ちゃんに話しかけますか。
 イ 世話をしたり相手をしたりしてたびたび話しかける
 ロ 泣けばあやす程度
 ハ ほとんど話しかけない
 ニ その他
 ⑰ しばしば、赤ちゃんに話しかける言葉は?。
 ()
 ⑱ 育児をどう思いますか。
 イ 希望にあふれている ハ 自分の向上がないのが辛い
 ロ 疲れるが仕方がない ニ その他
 ⑲ 御主人の育児に対する貢献度
 イ 母親以上に熱心 ハ 全く無関心
 ロ 少しかまってくれる ニ その他
 ⑳ 買物などに外出する時
 イ 必ず連れて出る
 a おんぶ又はだっこ
 b 車、ベビーカーにのせる
 ロ あづけて出る
 a 誰にあづけますか ()
 b その時はどんな気持ですか
 1. 育児から開放されてうれしい
 2. 少し気になる
 3. 大変気になって、とんで帰る
 ハ 寝せたまま出る
 ㉑ 赤ちゃんの泣き声を聞いたときどうしますか。
 イ とんでいってあやす ハ お乳がはってくる
 ロ しばしば様子を見る ニ その他
 ㉒ 赤ちゃんの発育について
 イ 順調で大変うれしい
 ロ 少し心配がある
 a 下痢や便秘
 b しばしばかぜをひく、37°5'以上の熱を出す
 c お乳を沢山吐く
 d 入浴、授乳、泣いた時、顔や唇がむらさき色になる
 e その他
 ㉓ 赤ちゃんはお乳をよく飲みますか
 ハ イ イイエ
 ㉔ 離乳開始までの赤ちゃんの栄養法は?
 イ ずっと母乳のみ
 ロ () ヶ月まで母乳、その後混合栄養
 ハ () ヶ月まで母乳、その後人工栄養
 ニ はじめから混合栄養
 ホ はじめから人工栄養
 ㉕ 果汁の種類やミルクの温度に反応しますか。
 イ 敏感に反応する
 ロ 少し反応する
 ハ あまり気にしない
 ニ その他
 ㉖ 赤ちゃんは、お父さん、お母さんを見るときどうですか。
 イ 全身でよろこんで、からだを動かす
 ロ よろこぶが、おとなしい
 ハ 反応が少い
 ニ その他

表2 赤ちゃんが欲しいと思ってどの位して生まれましたか。

	I 群	II群	III群	計
予期しないうちに	7 (28%)	68(43.0%)	8(47%)	83(41.5%)
予定通り	11 (44%)	69(43.7%)	9(53%)	89(44.5%)
なかなか生れなかった	7 (28%)	21(13.3%)		28(14.0%)
計	25(100%)	158(100%)	17(100%)	200(100%)

表3 赤ちゃんと初めて対面してどう思ったか。

	I 群	II 群	III 群	計
嬉しい・良かった	12(48%)	94(59.5%)	3(18%)	109(54.0%)
似ている・まあまあ	1(4%)	14(8.9%)	1(6%)	16(8.0%)
実感なし・また男(女)か	11(44%)	55(34.8%)	13(76%)	79(39.5%)
計	24(100%)	163(100%)	17(100%)	204(100%)

表4 赤ちゃんの発育について。

	I 群	II 群	III 群	計
順調でたいへん嬉しい	20(80%)	118(74.7%)	7(41%)	145(72.5%)
少し心配がある	5(20%)	40(25.3%)	10(59%)	55(27.5%)
計	25(100%)	158(100%)	17(100%)	200(100%)



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



はじめに

肥満度が社会的・経済的・家庭的環境によって(左右されることはよく知られている。われわれは前回幼児において一家族当たり人数が少ないもの、祖父母が同居せず昼間の世話役が母親であるものは肥満の傾向があることを報告した。今回は乳児の育児に関して母子関係の現状を調査し、とくに体重との関係について検討した。